

令和2年度（2020年度）行政評価シート【個表】

令和 2 年 8 月 14 日

評価対象事業		評価者	市民健康課	菊池 隆
健福-45	実施事業	食育事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課 市民健康課
	まち・ひと・しごと		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課
総合計画上の位置付け	分野	健康福祉	施策の方針	市民の健康と安心づくりの推進

1 事業の目的

対象	市民等
意図	食を通して市民の健康の維持増進を図るため。
効果	市民の健康に対する意識が高まり、自分から進んで健康の維持増進のための行動をとることができる。

2 令和元年度(2019年度)に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の食育推進の指針となる鎌倉食育推進計画の推進、進捗管理、評価を行った。</li> <li>「食」に関して、広く情報提供を行い、市民への啓発を図った。</li> <li>市民、生産者・流通業者、関連団体等が円滑に食育推進をするための環境づくりを行った。</li> </ul>
---

3 事業費等基礎データ

データ区分	30年度(2018年度)決算	01年度(2019年度)決算	データ区分	02年度(2020年度)当初予算	備考
人口等のデータ	人口	176,308人	人口	176,608人	・各年3月31日 (住民基本台帳)
	世帯数	81,763世帯	82,444世帯	世帯数	
運営資源状況	事業の対象者数		事業の対象者数		
	決算値(千円)	714	499	当初予算(千円)	774
	国県支出金	0	0	国県支出金	0
	地方債	0	0	地方債	0
	その他	0	17	その他	16
	一般財源	714	482	一般財源	758
	人員配置数	0.8	0.8	人員配置数	1.8
事業経費運営	人件費(千円)	6,305	6,480	人件費(千円)	14,628
	総事業費(千円)	7,019	6,979	総事業費(千円)	15,402
	市民1人当りの経費(円)	40	40	市民1人当りの経費(円)	87
	対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)	

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、ブルダウンで選択。

効率性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥当性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きいか	2. 廃止・休止による影響は小さいがある
有効性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きいか	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公平性	受益者負担は公正・公平か	<input type="radio"/> 負担導入済 <input type="radio"/> 適正な受益者負担を導入している
		△-1. 今後、市民等との協働による事業実施に向けた検討が必要である
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	<input type="checkbox"/> 協働未実施 <input type="checkbox"/> 協働実施済の場合のパートナー
事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す ⇒ <input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒	見直しの種類 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他
		見直しの内容 事業へ統合
予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由
		講座・イベント等については、引き続き事業所等と連携することで、実施を図っていく。今後は第3期鎌倉食育推進計画の概要版を配付をしながら、ホームページ等の活用等で、計画の推進を図っていく。
総評(評価に対する考え方、根拠等)	第3期鎌倉食育推進計画に基づき、指標の達成に向けた周知及び啓発を行っていく。	

令和元年度(2019年度)事業実施にあつた課題(前年度未解決の事項を含む)	第3期鎌倉食育推進計画の推進及び周知を図る。食育推進計画の位置づけや、連携、推進方法等について、健康づくり計画の食生活の部分と整理していく必要がある。周知についてはSNS等を上手く活用しながら進めていく。	
課題解決のために行った令和元年度(2019年度)の取組	関心が低い青壮年期も食行動の変容につながるように、LINEやHPを活用し、できるだけ具体的な取組み方法を提示した。健康づくり計画と重複する部分の抽出等を行い、今後の計画統合に向けた進行スケジュールを作成し、委員会で提示する等の取組を行った。	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	引き続き、第3期鎌倉食育推進計画の推進及び周知を図る。食育推進計画と、健康づくり計画の食生活の部分は、整合性をはかりながら両面から進めているが、重複する部分が多いことから、計画の一本化を視野にいれて検討していく。周知についてはSNS等を上手く活用しながら進めていく。	

◎ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	食育推進計画と健康増進計画とを統合している近隣市町									
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	逗子市	横須賀市	平塚市	葉山町			
他市実績	×	×	×	×	○	×	○			

比較事項	SNS(ツイッター、ライン等)で食育の周知をしている近隣市町									
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	逗子市	横須賀市	平塚市	葉山町	大和市	横浜市	
他市実績	○	○	○	×	○	×	×	○	×	

比較事項	管理栄養士の配置状況<令和元年度・健康増進主管課常勤栄養士数>上段は人数、下段は管理栄養士一人あたり住民数									
団体名	鎌倉市	逗子市	厚木市	平塚市	大和市	座間市	海老名市	綾瀬市	小田原市	
他市実績	1 172,071	1 56,928	2 112,085	3 85,812	6 39,697	2 65,311	1 134,348	2 42,194	1 189,651	

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	食育推進計画と健康づくり計画とは、一部重なる部分もあるが、目的が異なる部分もあり、統合には至らない市町村が多いと考えられる。
----------------------	--

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	内臓脂肪症候群の予防や改善のための適切な食事、運動等を継続して行っているか					単位	%	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)	「はい」と答えた人の割合を計上		
食を通した健康づくりの推進ができた割合であるため	目標値	50.0	50.0	50.0	50.0	-	-			
	実績値	19.8	23.4	22.6	未実施	未実施	未実施			
達成率	39.6%	46.8%	45.2%	-	-	-				

指標の内容	よく噛んで味わって食べるなどの食べ方に関心があるか					単位	%	指標の傾向	↘	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)	「はい」と答えた人の割合を計上		
食を通した健康づくりの推進ができた割合であるため	目標値	80.0	80.0	80.0	80.0	-	-			
	実績値	42.6	67.4	41.7	43.5	未実施	未実施			
達成率	53.3%	84.3%	52.1%	54.4%	-	-				

指標の内容	食育に関する事業等の参加人数					単位	人	指標の傾向	↘	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)	事業の内容等による参加者数の推移を把握するため		
事業の内容等による参加者数の推移を把握するため	目標値	1,400	1,400	1,400	1,450	1,450	1,450			
	実績値	1,397	1,302	1,399	1,410	1,732	1,605			
達成率	99.8%	93.0%	99.9%	97.2%	119.4%	110.7%				

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	食育に関する事業等の参加人数については、開催内容などによって、参加者数の変動があると考えられる。令和元年度はコロナウイルスの影響で実施できなかった事業があるため、減少した。今後も参加者からの意見・要望等を基に今後の事業内容を検討していく。
-----------------------	---